

申請書類一覧 2部(正1通、副1通)

添付書類	明示すべき事項等
許可申請書	建築基準法施行規則第43号様式。
付近見取図	<p>1/2,500の都市計画図の白図(申請敷地を明示)。</p> <p>申請敷地、方位、道路、目標となる地物等及び申請敷地周辺の状況。</p> <p>※敷地(赤)、通路(黄)、道路(緑)で囲うこと</p>
配置図	<p>縮尺、方位、敷地の境界線、敷地内における建築物の位置、申請に係る建築物と他の建築物との別、擁壁等工作物・井戸・し尿浄化槽の位置、土地の高低、建築物の各部分の高さ、接続する基準法上の道路の種別及び幅員、通路部分(基準法上の道路から申請敷地までの間)の幅員、敷地までの延長、敷地が通路と接する長さ(通路部分が長くて配置図に入りきらないときは、縮尺を変えた別図を作成してもよい)。</p> <p>擁壁等工作物については、新規・既存の別、構造、高さを記入。</p> <p>建築物の庇・軒先を破線にて表記し、出寸法を記入。</p> <p>延焼のおそれのある部分(延焼ライン)を記入。</p> <p>通路を道路とみなした場合の斜線検討図。</p> <p>雨水及び汚水の排水計画(放流先、浄化槽の位置)。</p> <p>放流先が個人の土地である場合は、所有者の同意のある旨を記入。</p> <p>通路についての記述。</p> <p>例:私道(5人の共有、公衆用道路・宅地)、農道(赤線)、市の所有地等</p> <p>通路後退がある場合……後退部分に建築物、門・塀・よう壁等を建築又は築造しない旨を配置図内にも明記。</p> <p>※敷地(赤)、通路(後退部分含む)(黄)、道路(後退部分含む)(緑)で囲うこと</p>
敷地の断面図	<p>縮尺、敷地境界線の位置、建築物の位置(寸法共)、通路と敷地の接する状況の明示、敷地の地盤面と前面道路、隣地の地盤面との高低差、がけの高さ、勾配及び土質、擁壁等工作物の構造・高さ。</p>

<p>各階平面図</p>	<p>縮尺、方位、間取り。</p> <p>延焼のおそれのある部分(延焼ライン)を記入。</p> <p>建築物の庇・軒先を破線にて表記し、出寸法を記入。</p> <p>各室の居室・非居室の別を記入(居室のみの表記でも可)。</p> <p>給排気機・口等の位置を記入。</p> <p>住宅用火災警報器の設置位置及び検定品かどうかを記入。</p> <p>火気使用室の有無を記入。</p>
<p>立面図</p>	<p>縮尺、開口部の位置、延焼のおそれのある部分の外壁及び軒裏の構造等。</p> <p>最高の高さ及び最高の軒の高さを明記。</p> <p>各開口部について、防火設備かどうかを明記。</p>
<p>理由書</p>	<p>許可を受けようとする理由(住みたい理由、避難及び通行の安全、延焼の防止等の防火、日照、採光、風通し、排水、その他衛生等の対処している旨)。</p>
<p>同意書 ※新築のみ添付</p>	<p>公園、広場、通路等の所有者又は管理者の同意。</p> <p>(同意者氏名は自筆で記入)</p> <p>小規模な増築の場合は原則として不要。</p>
<p>協議書 (公的機関の場合) ※新築のみ添付</p>	<p>公園、広場、通路等の所有者又は管理者の同意。</p> <p>法定外公共物に係る通行の協議は不要。</p>
<p>誓約書</p>	<p>申請敷地に係る通路後退等の誓約。(建築主氏名は自筆で記入)</p> <p>敷地に後退部分がなければ不要。</p>
<p>写真</p>	<p>付近の状況及び申請敷地が公園、広場、道等に接する状況がわかるもの。</p> <p>撮影範囲は、基準法上の道路から、通路部分及び予定敷地まで。</p> <p>※敷地(赤)、通路(黄)、道路(緑)で囲うこと</p>
<p>写真撮影方向図</p>	<p>付近見取図とは別図。</p>
<p>公図</p>	<p>申請日前3か月以内に発行されたものとする。</p> <p>各筆に地目および所有者を記入。※敷地(赤)、通路(黄)、道路(緑)で囲うこと</p>
<p>登記簿謄本</p>	<p>申請日前3か月以内に発行されたものとする。(申請敷地及び通路部分の土地)</p>

※委任状は、申請書に記載のない者が手続きを行う場合は必要です。